

一般社団法人カーボンリサイクルファンド（CRF）
2025年度研究助成活動に係る募集要項（スタートアップ枠）

【募集趣旨】

- ✓ CRF は、炭素循環（カーボンリサイクル）のイノベーションの創出の重要性に着目しており、CRF 研究助成活動によるグラントの公募を開始いたします。
- ✓ 組織は問わず、研究者個人（又はチーム）でご応募頂きます。2050 年カーボンニュートラルに資する研究成果を期待しており、化学、燃料、鉱物化をはじめバイオ等のネガティブエミッションなど幅広い分野からの応募を可能としています。
- ✓ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）等と連携したプログラムになっており、過去の成果が国プロジェクトにつながった例もございます。また、ビジネス化に向けての支援をさせて頂いております。
- ✓ さらに、カーボンニュートラルの実現では、国境を越えた取組みが重要です。そのため、海外の企業・研究機関と連携した研究を期待しています。
- ✓ CRF はカーボンリサイクル大学（ワークショップ形式の若手教育プログラム）を開催するなど、人材育成に力を入れており、今回、若手研究者からの多くの応募を期待しております。
- ✓ なお、趣旨は同様ですが、より広く助成を募集する一般公募枠を設けています。

1. 研究助成活動の目的

当法人では、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 131 条及び一般社団法人カーボンリサイクルファンドの定款第 29 条から第 32 条及び寄付金規則第 2 条（1）に基づき、研究助成ファンドを創成し、循環炭素社会の実現に向けたカーボンリサイクルに係る研究へのグラントの交付を行います。

一般的にカーボンリサイクルとは、CO₂を資源として活用し、主に化学品・燃料・鉱物などへ転換すること指しますが、当法人が考えるカーボンリサイクルでは、

- ・ CO₂を資源としてとらえ、有価化合物を生成し活用する
（いわゆる人工光合成の暗反応）
- ・ 農林水産業を始めとしたCO₂吸収源を活用する
- ・ 炭素を含む材料のリサイクル等も含めた地球規模の炭素循環を上手く活用する
ような、炭素循環社会の実現を指します（図 1）。

日本においては2023年2月に閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」において、2030 年度の温室効果ガス 46%削減、2050 年カーボンニュートラルを実現す

ることを目指すこととされました。また、2023年6月には「脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律」（通称：GX推進法）が施行され、GXを推進するための新たな投資支援政策等が進められています。

このような背景により、研究助成活動では、カーボンリサイクル技術のコスト低減等に向けた研究、あるいはカーボンリサイクルの社会実装に向けた課題解決に関する研究等に対する助成・支援を通じて、カーボンリサイクル・イノベーション創出に貢献することを目的としています。

カーボンニュートラルの実現においては、国境を越えて全世界で取り組むことが重要と考えています。したがって、本研究助成活動でも海外の企業・研究機関と連携して取り組まれている研究者を積極的に応援したいと考えております。

また、2050年カーボンニュートラルという長期目標の達成する上では、若手研究者の育成が重要と考えており、当法人では2021度よりカーボンリサイクル大学（ワークショップ形式の若手人材教育プログラム）を開催しています。本研究助成活動においても若手研究者の方も積極的に応援したいと考えております。

欧米では、カーボンリサイクルに係る技術を有するスタートアップが多数立ち上がりイノベーション創出に繋がっています。我が国においてもスタートアップへの徹底支援を掲げ、スタートアップ育成に重点が置かれ始めました。当法人としては、趣旨は同様ですが、応募様式を簡略化したスタートアップ枠を設け、スタートアップ育成とイノベーション創出を後押ししていきます。

なお、本活動は、NEDO等の国プロと連携したプログラムとなっており、過去の成果が国プロジェクトにつながった例もございます。また、ビジネス化に向けても支援させて頂いております。



図1 循環炭素社会のイメージ

2. 概要

上記目的のための研究助成活動として、一般公募枠とスタートアップ枠を設置します。スタートアップ枠は、主にシードステージ/アーリーステージのスタートアップ企業・中小企業・法人や起業予定の研究者の方を対象とします。

なお、スタートアップ枠は一般公募枠との併願が可能です。

※一般公募枠の詳細は、「2025年度研究助成活動に係る募集要項（一般公募枠）」を参照してください。

3. 募集要項

（１）研究助成対象

社会的課題を解決するため、CO₂（あるいは炭素原子や炭素を含む材料）を資源として利用するカーボンリサイクル及び関連技術、並びにカーボンリサイクルを実現するための社会科学や制度設計等の分野に関する研究や気候変動対応に資する技術

（２）研究分野（具体例）

➤ CO₂のリサイクル・利用分野

- ✓ 化学品（オレフィン、BTX、生分解性プラスチック製造等）
- ✓ 燃料（メタネーション、バイオ燃料製造、EOR（石油増進回収）利用等）
- ✓ 鉱物化（コンクリート製品、炭酸塩固定等）
- ✓ 生物の活用（細菌・バクテリアの活用、遺伝子操作・品種改良による光合成効率化等）
- ✓ CO₂吸収源（グリーンカーボン・ブルーカーボン）の利活用
- ✓ 機能性材料（カーボンナノチューブ、グラフェン製造等）
- ✓ バイオミメティクス（人工光合成等）

➤ カーボンリサイクルに必要な CO₂分離回収・H₂に関連する分野

- ✓ 水素の効率的生産（水電解技術、水素の生産を促進する菌等）、効率的なアンモニア合成・分解
- ✓ CCS^{※1}、DACCS^{※2}、BECCS^{※3}等に係る CO₂の効率的分離回収技術（吸収液・材、分離膜、直接空気回収等）

※1 CCS：Carbon dioxide Capture and Storage(CO₂回収・貯留)

※2 DACCS：Direct Air Capture with Carbon Storage（直接大気回収・貯留）

※3 BECCS：Bio-energy with Carbon Capture and Storage(バイオマス CO₂回収・貯留)

- CO₂の直接利用
 - ✓ 医療分野（炭酸効果活用等）
 - ✓ 農林水産分野（ビニルハウスによる促成栽培、土壌固定、植林・早生樹等）
- 社会科学等の分野（CO₂削減シナリオ、カーボンリサイクル導入促進シナリオ、カーボンリサイクル普及に向けた制度設計、CO₂の価値付けの検討等）
- 炭素資源(プラスチック等)の循環に係る技術
- カーボンリサイクルの価値向上に係る技術(AI/IoT 技術による CO₂ の見える化、CO₂を使った高付加価値材へ転換等)
- その他（気候変動対応に資する技術等）

（３）応募者の範囲

大学や企業、法人等の研究者又は研究チームとします。応募は所属する大学、企業、法人等の許可を得た上でご応募ください。研究代表者の国籍は問わず、所属機関は日本法人とし、カーボンリサイクルファンド会員・非会員については問いません。

スタートアップ枠は、シードステージ/アーリーステージのスタートアップ企業・中小企業・法人や起業予定の研究者の方を主な対象としています。一般公募枠に比べて、事業性や応募者の熱意も考慮した選考をおこないます。

（４）助成・支援金額

上限は1件あたり1,000万円・数件程度を予定。

（一般公募枠は10件程度を採択予定）

（５）助成・支援期間

助成・支援の対象となる研究期間は、決定日より最長で2027年7月31日までを目途とします。

但し、決定日より1年経過の後、成果報告会での発表と中間報告書の提出をお願いします。

(6) 応募方法

① 提出物

以下 1)～2) の電子データを (11) の申請書提出先に提出してください。

1) 事業および研究内容の説明資料 (様式不問)

説明には、以下を含めるようにしてください。

- ・ 目指す事業の姿
- ・ 新規性・独創性・既存技術に対する優位性などの説明
- ・ 実用化・事業化に向けた課題とその解決方法
- ・ 研究開発にあたり連携予定の大学・企業と役割分担
(単独実施の場合は記載不要)
- ・ 所属機関および研究代表者のプロフィール

2) PR動画 (任意提出)

自己紹介・当該研究内容のポイントの説明や意気込みなどをPRする動画を作成してください。提出は任意ですが、提出頂けますと審査において審査員の理解の助けとなります。

提出動画は5分以内、ファイルサイズ100MB以内としてください。

② 募集期間

2025年5月7日 (水) ～ 6月6日 (金) 17時

なお、公募説明会は実施いたしません。ご不明な点は(11)の問い合わせ先までご連絡ください。

(7) 選考方法

- ① 事務局にて選考のうえ、採択候補を採択審査委員会で推薦します。
- ② 選考は提出物 (任意提出の動画を含む) に基づいて行ないます。
- ③ 選考の結果は、8月上旬頃に申請者宛にご連絡いたします。
- ④ 採用された申請者には決定通知と助成金交付手続き書類を送付します。
- ⑤ 採択された案件については申請者(研究代表者名・所属機関)・テーマ名をWebサイトで公表いたします。また、当法人が主催するセミナーや外部機関が主催する学会・セミナーで公表する場合があります。

(8) 助成金の交付

- ① 交付の時期及び方法は、交付決定後、速やかに研究代表者所属機関指定の口座にお振込みいたします。必要があれば、交付決定時に申請者と支払時期や支払方法を協議して定めます。
- ② 助成金を交付する際には、後記（9）に従うことを承認したことを示す請書を提出していただきます。
- ③ 後記（9）に反した場合は、助成金の一部または全部について返還を求める場合があります。

(9) 助成金交付における注意点

助成金交付における主な注意点は以下の通りです。その他詳細は、Webサイトに添付しております助成金交付規程をご確認下さい。

- ① 真に研究に必要な資金であれば、特に用途についての制限はありません。費目の詳細は助成金交付規程をご確認下さい。ただし、申請者が所属する機関の間接経費にあててはできません。
- ② 助成研究が終了したときは、研究結果概要を記載した実績報告書を当法人に提出して下さい。また、30日以内に当法人に成果報告書を提出して下さい。
- ③ 研究期間が1年を超える場合は、前記②に加えて助成事業開始から1年経過した時点における中間報告書を当法人に提出して下さい。
- ④ 助成開始から1年後をめぐに、当法人が主催する研究成果報告会（都内にて開催）に出席し研究の進捗および(中間)成果を報告して下さい。
- ⑤ 研究助成は「研究助成交付申請書」記載内容に基づき実施して下さい。

(10) 情報の取扱いについて

提出書類に記入された情報は、採択審査および採択審査後の申請者に対するフォローアップのためのみに使用し、法令等が定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。

当法人の個人情報保護方針はWebページ（<https://carbon-recycling-fund.jp/privacy.php>）に記載しており、提出書類に記入された個人情報も本方針に基づいて取り扱います。

(1 1) 申請書提出先

以下の申込用Microsoft Formsに基本情報を入力のうえ、投稿用BOXに提出物一式を投稿してください。提出物のファイル名には先頭に「(研究代表者所属機関名)_(研究代表者名)」をつけてください。

申込用 Microsoft Forms (スタートアップ枠用) :

<https://forms.office.com/r/6X8Fc5BLF0>

投稿用 BOX :

申込用 Formsの最終設問のリンクより投稿してください。

(1 2) 申請／審査スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
研究者		5/7 応募	6/6 17:00				
事務局							

研究開始 (最長で2027年7月末まで)

採択/不採択通知
8月上旬

採択審査

(1 3) 問い合わせ先

〒105-0003 東京都港区西新橋2丁目34-7 第一三須ビル3階
一般社団法人カーボンリサイクルファンド イノベーショングループ
(担当: 佐々木)
TEL 03-6432-0011
e-mail : grant@carbon-recycling-fund.jp

(1 4) その他

当法人では、不採択となった場合も、当法人の会員企業とのマッチング等様々なご支援を行っておりますのでお申しつけ頂ければ幸いです。

当法人に賛助頂ける会員を常時募集しております。特に、学術機関に所属される研究者は無償で学術会員となれますので、これを機に検討頂けますと幸いです。詳細は当社Webページをご参照ください。

— 以上 —